



幕末から明治にかけて伊那谷を放浪した俳人、井上井月（いのうえせいげつ）。

伊那市創造館2階には、井月の直筆の句や資料を集め、常設展示している「井月展示室」があります。

このたび、新たに発見された井月の新句の掛軸2点と、昨年飯島町の民家から発見された「類句（るいく）」（以前から知られていた既存の句と、一部表現の違う句）を展示します。

新たに発見された新句は、

### 『棟あげや新酒の酔もひとちから 井月』

この句は、「建前が行われていますね。振る舞われた新酒の酔も棟上げに力を貸しているのでしょう。」といった解釈になります。意訳：一ノ瀬武志（いちのせたけし）氏

半紙に書かれた類句は、

### 『萬歳や人が笑ひば言得顔（いいえがお） 井月』

この句は、以前から知られている『萬歳や人が笑ひばしたり顔』の表現を変えたものです。

この句について、故・竹入弘元（たけいりひろもと）先生はその著書「井月の魅力 その俳句鑑賞」の中で、「万歳は正月に家々を訪れる門付。主役の大夫と、鼓を打つ才蔵と、賀詞、立舞い、唄、滑稽な問答で米銭を乞う。（その大夫が）観客が笑うと、自慢げな顔つきをしたと。」とされています。

「笑ひば」は井月の生国である越後の訛りと言われていて、また今回発見された「言得顔」は、「言い得て妙」といった意味になり、「したり顔」とは少しニュアンスが異なっています。

もう一つの新句は、

### 『湧（わい）て出る水音かろし白躑躅（つつじ） 井月』

つつじは晩春の季語で、その季節に軽快な水音が心地よく聞こえる風情を詠んだものです。

以上の、正月と新酒の季節にふさわしい句、更に春の3句を、1月27日～5月13日の間、特別展示します。

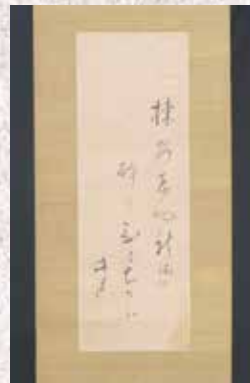
# 井月新句・類句特別展示

## 伊那市創造館2階 井月展示室

令和6年1月27日（土）～  
5月13日（月）

※期間中の休館日  
毎週火曜日・3月21日（木）  
午前10時～午後5時  
※最終入場は午後4時45分  
入場無料

※初日1月27日午前10時から、井月研究者一ノ瀬武志氏による展示解説があります。



棟あげや新酒の酔もひとちから



萬歳や人が笑ひば言得顔



湧て出る水音かろし白躑躅



- 電車利用…… JR飯田線伊那市駅より徒歩 4分
- バス利用…… 伊那バスターミナルより徒歩 3分
- 自動車利用…… 中央道伊那インターより 15分  
…… 中央道小黒川スマートインターより 10分

※お車でお越しの方へ  
いなっせ駐車場など、市営駐車場をご利用の上、駐車券を創造館1階事務室までお持ちください。無料化いたします。

※ホームページは…  
「伊那市公式」を検索 → [www.inacity.jp](http://www.inacity.jp)

→ 伊那市の博物館・美術館・図書館 → 伊那市創造館